



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 中央可鍛工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5607 URL <http://www.chuokatan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武山 直民
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 榊原 秀典 (TEL) 052-805-8600
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	8,411	70.7	402	—	729	—	523	—
2021年3月期第1四半期	4,926	△40.6	△509	—	△372	—	△544	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,194百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △707百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	34.19	—
2021年3月期第1四半期	△35.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	38,562	22,606	57.1
2021年3月期	38,784	21,502	53.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 22,037百万円 2021年3月期 20,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,900	28.9	530	—	860	—	600	—	39.28
通期	32,300	11.3	1,220	157.6	1,840	47.3	1,300	16.7	85.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	16,020,300株	2021年3月期	16,020,300株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	713,901株	2021年3月期	722,529株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	15,299,928株	2021年3月期1Q	15,238,311株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大が依然として続いております。

各国における経済政策やワクチン接種の加速を背景とした個人消費の持ち直しにより、全体的には緩やかな回復を示しておりますものの、感染症再拡大や米中関係の行方など先行きは予断を許さない状況が続いております。

わが国経済におきましても、緊急事態宣言の再発令やまん延防止等重点措置の再適用に伴って経済活動が大きく制限されました。各企業業績につきましても、長期化する新型コロナウイルス禍から、業績を回復する企業と、一方で引き続き落ち込む企業へと二極化するいわゆるK字回復が徐々に顕在化してきております。

また、当社グループの主要取引先であります自動車業界におきましては、回復基調ではあるものの、世界的な半導体不足や原材料高騰などによる生産への影響が懸念されております。

この様な環境の下、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は84億11百万円（前年同期比70.7%増加）、営業利益は4億2百万円（前年同期は営業損失は5億9百万円）、経常利益は7億29百万円（前年同期は経常損失3億72百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億23百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億44百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 可鍛事業

当セグメントにおきましては、自動車生産は回復基調にあることに加え、昨年度コロナ禍でいち早く回復した中国国内の建設機械需要が引き続き堅調であったため、売上高は82億円（前年同期比74.7%増加）、セグメント利益（営業利益）は6億37百万円（前年同期はセグメント損失2億80百万円）となりました。

② 金属家具事業

当セグメントにおきましては、新製品の投入や働き方改革・新しい生活様式に向けた商品開発を積極的に推進しましたが、物流費や原材料高騰の影響により、売上高は2億11百万円（前年同期比9.7%減少）、セグメント損失（営業損失）は12百万円（前年同期はセグメント利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は385億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億22百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少などにより流動資産が8億67百万円減少し、関係会社出資金の増加などにより固定資産が6億45百万円増加したことによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ13億25百万円減少し、159億55百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少などにより流動負債が11億86百万円減少したこと、長期借入金の減少などにより固定負債が1億39百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ11億3百万円増加し、226億6百万円となりました。主な要因は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間においては、当社グループの主要取引先であります自動車業界が堅調に推移するなど好影響があったものの、新型コロナウイルス変異株の感染再拡大など、業績への影響が見通せない状況であります。

以上を踏まえて、2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,470,604	5,410,476
受取手形及び売掛金	5,798,776	5,586,937
電子記録債権	1,441,444	1,472,770
有価証券	29,991	30,021
商品及び製品	749,632	914,195
仕掛品	603,066	646,827
原材料及び貯蔵品	796,089	835,476
その他	327,721	452,856
貸倒引当金	△3,606	△3,720
流動資産合計	16,213,719	15,345,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,293,807	3,294,556
機械装置及び運搬具(純額)	5,682,554	5,637,205
工具、器具及び備品(純額)	595,543	626,036
その他(純額)	4,589,605	4,645,118
有形固定資産合計	14,161,510	14,202,917
無形固定資産	134,450	102,852
投資その他の資産		
関係会社出資金	4,846,161	5,346,814
その他	3,444,010	3,579,158
貸倒引当金	△15,096	△15,096
投資その他の資産合計	8,275,074	8,910,876
固定資産合計	22,571,036	23,216,646
資産合計	38,784,755	38,562,487

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,806,532	2,967,073
電子記録債務	2,324,184	2,465,526
短期借入金	2,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	859,474	837,090
未払法人税等	50,574	191,491
賞与引当金	330,913	84,696
その他	1,545,345	2,184,383
流動負債合計	9,917,024	8,730,261
固定負債		
長期借入金	4,290,495	4,160,504
役員退職慰労引当金	41,313	39,921
環境対策引当金	14,455	14,455
退職給付に係る負債	105,760	107,364
その他	2,912,830	2,903,485
固定負債合計	7,364,854	7,225,730
負債合計	17,281,879	15,955,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,000	1,161,000
資本剰余金	722,469	722,469
利益剰余金	17,428,722	17,859,771
自己株式	△243,249	△239,196
株主資本合計	19,068,942	19,504,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	987,322	1,084,563
為替換算調整勘定	708,541	1,293,273
退職給付に係る調整累計額	164,348	155,560
その他の包括利益累計額合計	1,860,212	2,533,397
非支配株主持分	573,720	569,054
純資産合計	21,502,875	22,606,495
負債純資産合計	38,784,755	38,562,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	4,926,963	8,411,373
売上原価	4,860,692	7,365,305
売上総利益	66,270	1,046,068
販売費及び一般管理費	576,235	643,572
営業利益又は営業損失(△)	△509,964	402,495
営業外収益		
受取利息	1,816	3,359
受取配当金	28,817	30,528
持分法による投資利益	91,098	207,578
その他	39,856	100,671
営業外収益合計	161,589	342,138
営業外費用		
支払利息	11,872	10,720
為替差損	8,472	298
その他	3,629	4,073
営業外費用合計	23,974	15,091
経常利益又は経常損失(△)	△372,349	729,542
特別利益		
助成金収入	104,365	—
特別利益合計	104,365	—
特別損失		
固定資産除却損	303	1,415
投資有価証券評価損	29,487	2,500
新型コロナウイルス感染症による損失	256,066	—
特別損失合計	285,857	3,915
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△553,842	725,626
法人税、住民税及び事業税	25,049	198,224
法人税等調整額	△31,636	6,056
法人税等合計	△6,586	204,280
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△547,255	521,346
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,754	△1,770
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△544,500	523,116

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△547,255	521,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,059	97,031
為替換算調整勘定	△120,258	291,614
退職給付に係る調整額	10,306	△8,787
持分法適用会社に対する持分相当額	△113,751	293,116
その他の包括利益合計	△160,644	672,975
四半期包括利益	△707,899	1,194,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△706,663	1,196,302
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,236	△1,980

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内販売において、出荷時から顧客への製品移転時までの期間が通常の間である場合は、出荷時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等104,365千円を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

※2 新型コロナウイルス感染症による損失

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

休業中に発生した人件費、減価償却費等の固定費等256,066千円を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,693,255	233,708	4,926,963	—	4,926,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,693,255	233,708	4,926,963	—	4,926,963
セグメント利益又は損失(△)	△280,446	665	△279,781	△230,183	△509,964

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△230,183千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,200,357	211,016	8,411,373	—	8,411,373
外部顧客への売上高	8,200,357	211,016	8,411,373	—	8,411,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,200,357	211,016	8,411,373	—	8,411,373
セグメント利益又は損失(△)	637,916	△12,660	625,255	△222,759	402,495

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△222,759千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。